

事業番号

2023 - 官房 - 新23 - 0002

令和5年度行政事業レビューシート

(内閣官房)

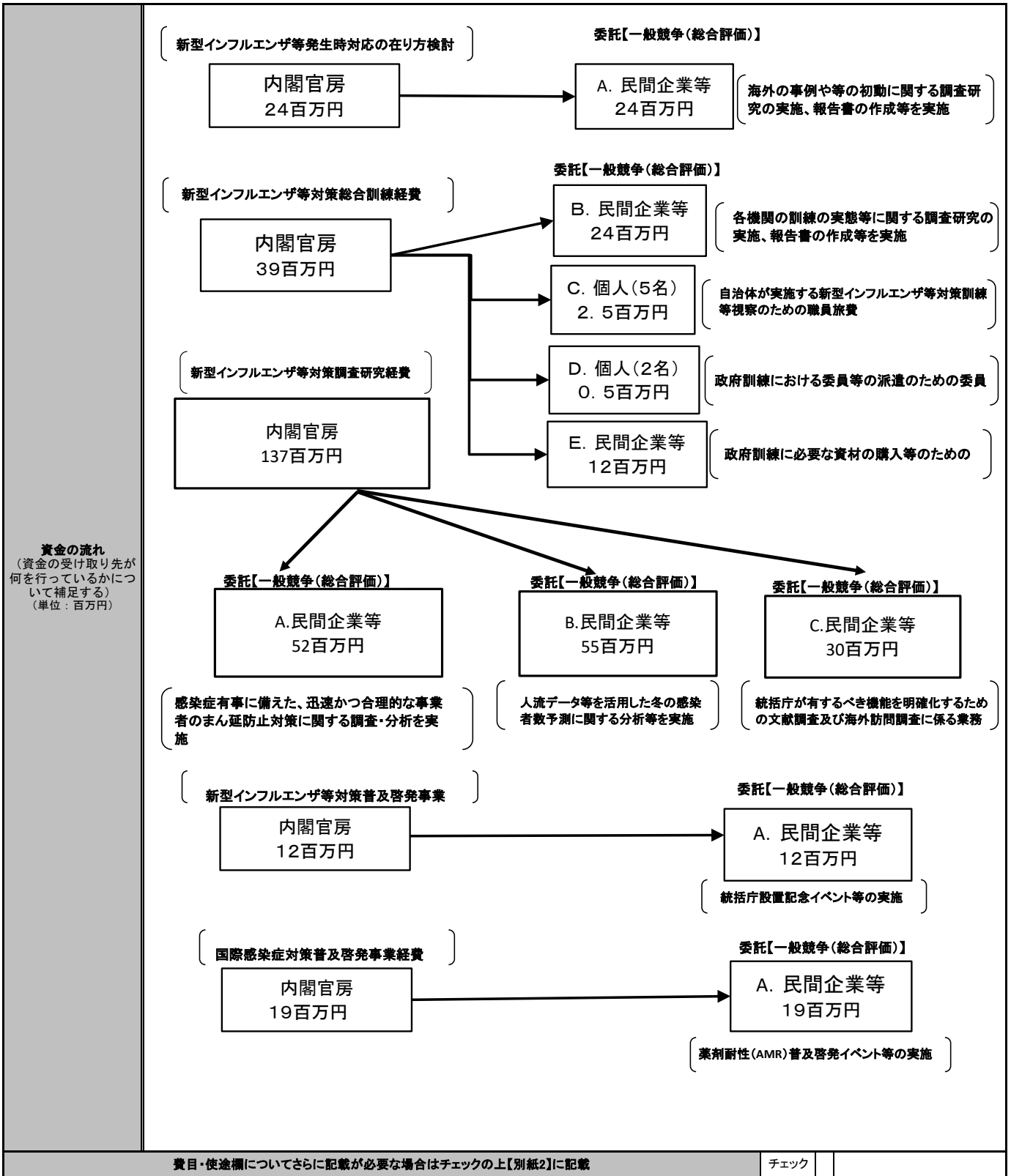
事業名	次の感染症危機に対応する司令塔機能の強化			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	新型コロナウイルス等感染症対策推進室		内閣参事官 三戸 雅文 小浦 克之 企画官 高山 啓 佐島 岳彦
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成二十四年五月十一日法律第三十一号)第1条、第12条、第13条 内閣法(昭和二十二年法律第五号)第15条の2第2項			関係する計画、通知等	新型インフルエンザ等対策政府行動計画(平成二十五年六月七日閣議決定) 薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン(2023-2027)		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	新型インフルエンザ等とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第104号)に定められた新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症をいい、国民の大部分がその免疫を獲得していないことから、全国的かつ急速にまん延し、国民生活及び国民経済に重大な影響を及ぼすおそれがあるものである。新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成24年法律第31号)に基づき、新型インフルエンザ等の発生に備え、国全体として万全の態勢を整備し、発生時の感染拡大を可能な限り抑制し、国民の生命・健康の保護、社会・経済を破綻に至らせないようにする必要がある。						
現状・課題 (5行程度以内)	これまでの事業「新型インフルエンザ等対策経費」を終了し、今年度から、本事業へ移行するとともに、新型コロナウイルス類型変更に伴い、新型インフルエンザ等対策訓練を再開する。 令和4年6月の有識者会議報告書により、科学的知見と根拠に基づく政策を判断するため、国内外の情報データや専門知の迅速な収集、共有、分析、評価等を行う能力の向上を図ることが指摘された。 感染症危機の対策に対する国民の納得感や効果を高めるという観点から、リスクコミュニケーションの視点に立った適時適切な広報が重要である。 薬剤耐性(AMR)対策について、抗微生物薬を不適切な量や期間使用することは、薬剤耐性菌の出現を促すことにつながるため、国民に対する薬剤耐性(AMR)の知識、理解に関する普及啓発・教育活動を進めることは重要な課題である。						
事業概要 (5行程度以内)	内閣感染症危機管理統括庁(仮称)では、各府省庁等が有事において的確に対処できるよう、感染症危機を想定した訓練、国民への普及啓発、新型インフルエンザ等対策政府行動計画等に基づく各府省庁等の準備状況のチェック・改善に係る業務を行うこととしており、具体的には以下の施策等を実施する。 ①新型インフルエンザ等発生時対応の在り方検討経費 ②新型インフルエンザ等対策総合訓練経費 ③新型インフルエンザ等対策調査研究経費 ④新型インフルエンザ等対策普及啓発事業経費 ⑤国際感染症対策普及啓発事業経費						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	230	309
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	230	309
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	内閣官房共通費			重要施策推進枠;100百万円		
	(目)	諸謝金	188	238	主な増減理由:訓練及び調査研究の充実に係る経費増のため。		
	(目)	庁費	37	50			
	(目)	職員旅費	5	20			
	(目)	委員等旅費	1	1			
		その他					
	計(A)	230	309				

活動内容① (アクティビティ)		新型インフルエンザ等発生時対応の在り方検討経費 (新型インフルエンザ等発生時対応の在り方を検討するための調査・研究を実施)								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		国内外の文献調査、国内の自治体等の取組の実態把握、海外状況調査等で得られた情報について分析を実施	新型インフルエンザ等発生時対応の在り方を検討するための調査・研究の実施数	活動実績	件	-	-	-	-	-
				当初見込み	件	-	-	-	1	-
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		初動の在り方を検討する際、国内外のあらゆる情報を集約した上で、分析することが必要なため。 (令和5年度限りの事業の為、6年度の活動見込みなし)								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
		初動の在り方を検討について、調査・研究を行い、実際の初動等に活用	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
アウトカム設定について の説明		<p style="text-align: center;">アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由</p> <p>当事業は、初動の在り方を検討について、調査・研究を行い、実際の初動等に活用する事業のため、定量的に成果目標を設定することは困難</p> <p style="text-align: center;">アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由</p> <p>当事業は、初動の在り方を検討について、調査・研究を行い、実際の初動等に活用する事業であるため複数設定は困難</p>								
活動内容② (アクティビティ)		新型インフルエンザ等対策総合訓練経費 (新型インフルエンザ等対策訓練の政府、府省庁、自治体、指定公共機関の訓練促進を実施)								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		全ての関係府省庁、都道府県等に、独自の訓練を実施させ、訓練の質・量を向上	全ての府省庁、都道府県、市町村、指定公共機関の数	活動実績	件	-	-	-	-	-
				当初見込み	件	-	-	-	2,989	2,989
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		感染症危機対処能力の向上のためには、平素からの訓練の実施が必須のため。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
		政府及び自治体等の感染症危機対処能力向上	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
アウトカム設定について の説明		<p style="text-align: center;">アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由</p> <p>当事業は、感染症危機対処能力の向上を図る事業のため、定量的に成果目標を設定することは困難</p> <p style="text-align: center;">アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由</p> <p>当事業は、訓練の実施により感染症危機対処能力の向上を図る事業のため複数設定することは困難</p>								

活動内容③ (アクティビティ)	新型インフルエンザ等対策調査研究経費 (令和4年6月の有識者会議報告書により、科学的知見と根拠に基づく政策を判断するため、国内外の情報データや専門知の迅速な収集、共有、分析、評価等を行う能力の向上を図ることが指摘された。これを踏まえ、次の感染症が発生した時に備えた調査分析等を行う。)								
↓									
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	調査研究の実施とその成果報告	実施した調査研究のテーマ数	活動実績	件	-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	15	2
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	多角的な視点から調査研究を実施し、その成果をとりまとめることで、国内外の情報データや専門知の迅速な収集、共有、分析、評価等を行う能力が向上し、次の感染症危機に備えた合理的な施策の立案に活用することができるため。							
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
	次の感染症危機における、科学的知見と根拠に基づいた政策判断の実現	-	成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	-								
アウトカム設定についての説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
	本事業により行われた調査研究の成果が、国内外の情報データや専門知の迅速な収集、共有、分析、評価等を行う能力の向上が施策の立案へどのように活用されたかについては、定量的な評価になじまないため。 また、国内外の情報データや専門知の迅速な収集、共有、分析、評価等を行う能力の向上に資する事業が、次の感染症危機における科学的知見と根拠に基づいた政策判断の実現にどのように貢献したかについても、定量的な評価になじまないため。								
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
	本事業により行われた調査研究の成果を、国内外の情報データや専門知の迅速な収集、共有、分析、評価等を行う能力の向上が施策の立案へ活用する事業であるため複数設定することは困難								
活動内容④ (アクティビティ)	新型インフルエンザ等対策普及啓発事業 (新型インフルエンザ等対策の普及啓発に資する取組を実施)								
↓									
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	感染症危機への対応に関する情報を適時適切に発信することにより、国民の行動変容に資する。	イベント参加人数	活動実績	回	-	-	-		
			当初見込み	回	-	-	-	3,000	3,000
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	感染症危機対応能力の向上のためには、平時からの継続的・効果的な広報により理解・認知度を高めることが重要であるため。							
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
	次の感染症危機における対応能力の向上	-	成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	-								
アウトカム設定についての説明	アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
	新型インフルエンザ等対策の普及啓発に資する事業が、次の感染症危機における対応能力の向上にどのように貢献したかについて、定量的に評価することは困難である。								
	アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
	当事業は、広報により次の感染症危機における対応能力の向上を図る事業のため、複数設定することは困難である。								

活動内容⑤ (アクティビティ)		国際感染症対策普及啓発事業経費 (薬剤耐性 (AMR) 対策の普及啓発に資する取組を実施)									
↓											
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		薬剤耐性 (AMR) 対策に関する情報を対象の特性に応じて適切に発信することにより、国民の行動変容に資する。	薬剤耐性 (AMR) 対策に関するイベント等の実施回数	活動実績	回	-	-	-			
				当初見込み	回	-	-	-	1	1	
↓											
成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		薬剤耐性 (AMR) の理解・認知度が深まることで抗微生物薬の適正に使用でき、薬剤耐性 (AMR) に起因する感染症のまん延防止につながるため。									
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
		薬剤耐性 (AMR) に起因する感染症のまん延防止	-	成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-									
アウトカム設定について の説明		<p style="text-align: center;">アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由</p> <p>薬剤耐性 (AMR) 対策の普及啓発に資する事業が、薬剤耐性 (AMR) に起因する感染症のまん延防止にどのように貢献したかについて、定量的に評価することは困難である。</p> <p style="text-align: center;">アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由</p> <p>当事業は、普及啓発により薬剤耐性 (AMR) に起因する感染症の対応能力の向上を図る事業のため、複数設定することは困難である。</p>									
事業に関連する KPIが定められて いる関係決定等		名称	-								
		URL	-								
		該当箇所	-								
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		目標年度における効果測定に関する評価 (令和〇年度実施)									
改善の 方向性											
外部有識者の所見											
点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見											
現状通り	過去の「新型インフルエンザ等対策経費」の成果等も踏まえ、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ確に検証し、予算の効率的執行に努めるべき。										
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り	事業を実施する際は、過去の事業の成果等を踏まえ、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ確に検証し、予算の効率的執行に努める。										

過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ																			
	上記への対応状況																			
	その他の指摘事項																			
	上記への対応状況																			
備考																				
関連する過去のレビューシートの事業番号																				
平成23年度																				
平成24年度																				
平成25年度																				
平成26年度																				
平成27年度																				
平成28年度																				
平成29年度																				
平成30年度																				
令和元年度																				
令和2年度																				
令和3年度																				
令和4年度																				



支出先上位10者リスト

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載	<input type="checkbox"/>	チェック
--	--------------------------	------